

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会  
平成 16 年春の年会（岡山大学） 総会  
（平成 16 年 3 月 30 日 12 時～13 時 F 会場）

議 事（案）

- 1 . 部会長挨拶 小佐古敏荘（東大）
- 2 . 部会内規の改正について（資料 1）
- 3 . 次期役員を選任について（資料 2、3）
- 4 . 平成年 15 年度部会決算見込（資料 4、5）
- 5 . 平成 16 年度部会予算案（資料 4、6）
- 6 . 平成 15 年度部会活動報告（資料 7 - 1、7 - 2）
- 6 . 平成 16・17 年度評議員選挙について（資料 8）
- 7 . 企画委員、学会誌編集委員、プログラム委員からの活動報告
- 8 . 副部会長挨拶 内田滋夫（放医研）

日本原子力学会「保健物理・環境科学部会」内規

平成 12 年 4 月 21 日運営委員会承認  
平成 13 年 9 月 19 日運営委員会改正  
平成 16 年 1 月 26 日運営委員会改正

1.趣旨

この内規は保健物理・環境科学部会規約に基づき、保健物理・環境科学部会（以下、「本部会」という。）の具体的な運営の方法について定めるものである。

2.総会

- (1)本部会の総会を年 1 回以上、学会春の年会あるいは秋の大会時に開催する。
- (2)総会では、本部会の事業、予算、決算、運営等に関する重要事項について審議する。

3.部会費

本部会の部会費は、学会が定めるところによる。

4.運営委員会の構成

- (1)本部会に次の役員からなる運営委員会を置く。
  - 部会長 1 名
  - 副部会長 2 名
  - 運営委員 若干名
  - 会計監査 運営委員の内より 1 名
- (2)部会長、副部会長及び運営委員の中から選ばれた幹事若干名により、常任委員会を構成する。

5.運営委員会の職務

- (1)運営委員会は、本部会の運営の中心となり、本部会の運営に関する重要な事項を審議する。
- (2)常任委員会は、本部会の経常的な運営を行い、本部会の運営に関する事項を分担する。
- (3)部会長は、本部会を代表し、本部会の職務を総括する。
- (4)副部会長は、部会長を補佐し、部会長に支障があるときは部会長の職務を代行する。
- (5)会計監査は、本部会の会計の監査を行う。

6.運営委員会委員の選任

- (1)部会長、副部会長、運営委員及び会計監査は、学会正会員の部会員の選挙で選ばれる。ただし、事業上の必要がある場合は、部会長の指名により若干名の運営委員を追加することができる。  
（注）当面は運営委員を部会員による選挙で選び、その他の役員については、運営委員会からの推薦を基にした部会員の信任投票で選任することとする。（第 4 回総会決定）
- (2)部会長、副部会長、運営委員及び会計監査の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
- (3)幹事は、部会長が副部会長と協議の上運営委員の中から選任する。

7.変更

本内規の変更は、運営委員会での承認を要する。

以上

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会  
第2期(平成14年～15年度)委員名簿

【役員】下線；第1期より継続

部会長 小佐古敏荘(東大)  
副部会長 内田 滋夫(放医研)  
会計監査 宮崎振一郎(関電)

【運営委員】25名 幹事 11名 下線；第1期より継続

天野 光(原研) 飯田孝夫(名大) 生瀬博之(三菱マテリアル)  
内田滋夫(放医研) 占部逸正(福山大) 金子正人(放影協)  
近藤健次郎(高工研) 篠原邦彦(サイクル機構)  
小佐古敏荘(東大) 下 道国(藤田保健衛生大) 杉浦紳之(東大)  
塚田祥文(環境科研) 野口 宏(原研) 服部隆利(電中研)  
早田 勇(放医研) 二ツ川章二(RI協会) 福井正美(京大)  
本間俊充(原研) 三浦太一(高工研) 宮崎振一郎(関電)  
宮部賢次郎(サイクル機構) 森澤眞輔(京大) 森嶋彌重(近大)  
山西弘城(核融合研) 山本英明(原研)

【事務局】下線；第1期より継続

飯本武志(東大) 高橋知之(京大)

【学会委員】(任期満了時期は翌年度の6月頃)

企画委員 本間俊充(原研) 平成13年～15年度  
二ツ川章二(RI協会) 平成15年～17年度  
杉浦紳之(東大) 平成16年～18年度(新)  
学会誌編集委員 金子正人(放影協) 平成13年～15年度  
杉浦紳之(東大) 平成13年～15年度  
山本英明(原研) 平成15年度～17年度  
学会プログラム委員 山西弘城(核融合研) 平成14年～16年度

【学会から要請された臨時委員会等の委員】(平成14～15年度分)

原子力安全研究特別専門委員会 二ツ川章二(RI協会) 山澤弘実(原研)  
JCO事故調査委員会 本間俊充(原研)  
企画委員会原子力二法人統合検討WG 野口 宏(原研)  
企画委員会平成15年度学会予算改善WG 宮崎振一郎(関電)  
編集委員会学会誌モニター 上菘義朋(理研) 塚田祥文(環境科研)  
二ツ川章二(RI協会) 三浦太一(KEK)  
宮崎振一郎(関電)

以上

部会内規第6条に基づく部会長、副部会長及び運営委員の選任方法  
(第4回総会にて採択)について

1. 改選の考え方

運営委員会における審議の継続性を考え、第2期運営委員の半数程度を再任とする。

また、学会委員(企画委員、学会誌編集委員、プログラム委員)の任期が継続している運営委員を再任とする。

2. 手続き

運営委員会にて第3期で再任となる委員を決定

部会員より、第3期新規運営委員の立候補者、推薦者を募集

新規及び再任運営委員の信任投票 封書またはE-mailにて

全部会員の過半数の反対で不信任(それ以外はすべて信任=定員なし)

新旧合同運営委員会にて第3期部会長及び副部会長、会計監査を選任

2004年春の年会部会総会にて第3期部会長、副部会長、運営委員及び会計監査を承認

第3期部会長と副部会長の協議により、幹事を選任

第3期(平成16~17年度)保健物理・環境科学部会  
運営委員会 委員(確定)

天野光(原研) 飯田孝夫(名大) 生瀬博之(三菱マテリアル)  
植頭康裕(サイクル機構) 内田滋夫(放医研) 占部逸正(福山大)  
小川喜弘(近大) 金子正人(放影協) 木名瀬栄(原研)  
小佐古敏荘(東大) 下道国(藤田保健衛生大) 杉浦紳之(東大)  
塚田祥文(環境科研) 外川織彦(原研) 服部隆利(電中研)  
福井正美(京大) 二ツ川章二(RI協会) 本間俊充(原研)  
三浦太一(高工研) 宮崎振一郎(関電) 山澤弘実(名大)  
山西弘城(核融合研) 山本英明(原研) 米原英典(放医研) (24名)

【総会承認事項】

部会長 候補; 内田滋夫(放医研)

副部会長候補; 飯田孝夫(名大)

副部会長候補; 本間俊充(原研)

会計監査候補; ( )

以上

## 平成 15 年度決算見込みと平成 16 年度予算 (案)

## 予算関係の承認手続 (学会)

部会運営委員会案の提出：平成 16 年 1 月 14 日 (水)

総務財務委員会 1 月 20 日 (火) 申請集計と予算素案審議

2 月 17 日 (火) 1 次予算案審議

3 月 9 日 (火) 2 次予算案審議

理事会 1 月 27 日 (火) 申請集計と予算素案審議

2 月 24 日 (火) 1 次予算案審議

3 月 16 日 (火) 理事会決定

通常総会 6 月 22 日 承認審議

部会「運営委員会」承認事項 (平成 16 年 1 月 13 日)

## 【平成 15 年度支出見込み】

## 収入

配布金 = 113,000 円 (部会員数)

寄付金 = 122,400 円 (天野様、高橋様、吉澤様、三浦様の 4 氏より)

## 支出

講師謝金 = 19,760 円 (秋 8,760 円、春 11,000 円 (予定))

会員管理費 = 60,000 円 (名簿管理費、学会に定額支払)

その他 = 25,110 円 (秋大会予稿作成送付、放射線工学部会と折半)

平成 15 年度収支戻 = 130,530 円 (残の予定)

平成 14 年度からの繰越金 = 174,250 円 を合わせて、

合計 304,780 円 を平成 16 年度に繰越予定

## 【平成 16 年度予算】

## 収入

配布金 = 113,000 円 (平成 15 年度実績)

## 支出

講師謝金・旅費 = 100,000 円 (秋 50,000 円、春 50,000 円)

会員管理費 = 60,000 円 (名簿管理費、学会に定額支払)

セミナー補助金 = 100,000 円 (例年通りの枠取)

予備費 = 50,000 円

平成 16 年度収支戻 = 197,000 円 (マイナス)

(繰越金の予定額が、304,780 円あるので OK)

(注 1) 基本的に学会側が単年度締め予算制をとっているため、繰越金は収入の枠に入れな  
いよう。したがって、予算上収支戻がマイナスになっても、繰越金を含めて考えれば問題  
なし。

(注 2) 平成 14 年度から、残額の 25% が 10 万円を超えると、超過分を学会に返納するル  
ールが発効しています。= 40 万円までの繰越が限度

(注 3) 繰越金の使途に関する部会長と副部会長からの提案として、近隣諸国の研究者 2-3  
名を H16 年秋の大会に招聘し、この講演を軸とした企画セッションを計画する案あり。

資料4の注3に関する企画の年度内開催について

平成16年1月14日に財務委員会に提出した資料4および資料5に基づく平成15年度支出見込みに関して、変更があった。

学会事務局より原則的に繰越金は40万円まで認められるが、恒常的な繰越がある場合には次年度予算配分に影響が出るおそれがある旨の情報あり  
資料4によれば、30万円程度の繰越金が予定されているため、ある程度は今年度中に使用しておいたほうがよいとの判断  
(注3)に関して、その後の運営委員会において、正式に計画が認められたこと

以上の状況を背景に、今年度中に(注3)に関するシンポジウムを開催することを、部会長及び副部会長の提案により運営委員会にて再度審議、以下のワークショップが承認された。

-----  
原子力国際ワークショップ 第1回 台湾」

日時 ;平成16年2月28日(土)13時30分～17時

場所 ;東京大学原子力研究総合センター本館5階505室

講演1 台湾における原子力発電への日本の協力の現状」

日本原子力産業会議 政策企画本部マネージャー 高橋誠一郎氏

講演2 台湾の原子力事情に関する最新情報」

核能科技協進会常務取締役 輔仁大学兼任教授 謝牧謙氏

-----  
原子力国際ワークショップ 第2回 韓国」

日時 ;平成16年3月12日(金)13時30分～17時

場所 ;東京大学原子力研究総合センター本館5階505室

講演1 韓国の原子力産業の現状 海外への積極的展開」

日本原子力産業会議 アジア協力センターマネージャー 中杉秀夫氏

講演2 韓国の原子力事情に関する最新情報」

韓国水力原子力発電株式会社(KHNP) 原子力環境技術研究所

放射性廃棄物研究グループ長 申相云氏

-----  
上記ワークショップに関する収支は以下の通り

【収入】 0円(コピー配付のため資料代は請求せず)

【支出】

1.講師旅費 謝牧謙氏 73,000円

2.講師旅費 申相云氏 78,500円

合計 151,500円

(注)以下の講演謝金を「東京大学原子力研究総合センター」より支給

外国人講師 36,000円 × 2名 = 72,000円

日本人講師 20,000円 × 2名 = 40,000円

合計 = 112,000円

以上

日本原子力学会 春の年会 秋の大会関係

平成 15 年秋の大会

合同企画セッション (放射線工学部会、保健物理・環境科学部会)

放射線障害防止法改定の意義と現場の対応」9月24日(水)13:00～17:00 (C会場)

総合司会 (KEK)三浦 太一

座長 (九大)石橋健二

- (1)新しい放射線障害防止法の概要 (文科省)茶山 秀一
- (2)新しい放射線障害防止法の論点とその考え方 (東大)小佐古敏荘  
座長 (東大)飯本武志
- (3)新法令に対する現場での対応と今後の論点
  - 1)全体論 (東北大)中村 尚司
  - 2)加速器施設 (KEK)伴 秀一
  - 3)加速器&R施設 (理研)上菘 義朋
  - 4)R施設 (京大)五十棲泰人
  - 5)R施設 (サイクル機構)浅野 智宏
  - 6)医療施設 (自治医大)菊地 透
- (4)R廃棄物のクリアランス及び処分に係る課題 (原研)大越 実  
座長 (アイソトープ協会)河田 燕
- (5)総合討論

平成 16 年春の年会

合同企画セッション (バックエンド部会、保健物理・環境科学部会)

放射性廃棄物地中処分と生態圏影響評価」3月30日(火)9:00～12:00 (F会場)

座長 (放医研)内田滋夫、(原研)木村英雄

- (1)放射性配意異物処分における線量基準の考え方  
(東大)小佐古敏荘
- (2)放射性廃棄物処分の安全評価における諸問題  
(原研)木村英雄
- (3)廃棄物処分と環境防護  
(放医研)土居雅広
- (4)地層処分における生物圏評価のためのレファレンスバイオスフェアの考え方  
(原環機構)内藤守正
- (5)総合討論

部会主催または共催のシンポジウム等

電力中央研究所(低線量放射線研究センター)主催  
低線量放射線影響に関する国際シンポジウム  
「低線量放射線の健康影響 - がんリスクの有無」  
平成15年10月15日 経団連ホール(経団連会館14階)

保物セミナー2003 実行委員会 主催  
「保健物理の歴史的変革(案)」  
平成15年11月20日 ホテルエルイン京都

高エネルギー加速研究機構放射線科学センター等 主催  
第5回「環境放射能」研究会  
平成16年3月2-4日 高エネルギー加速器研究機構3号館セミナーホール

保健物理・環境科学部会等 主催  
「原子力国際ワークショップ 第1回「台湾」」  
平成16年2月28日(土) 東京大学原子力研究総合センター本館5階505室

保健物理・環境科学部会等 主催  
「原子力国際ワークショップ 第2回「韓国」」  
平成16年3月12日(金) 東京大学原子力研究総合センター本館5階505室

以上

## 会 告

平成16年 2月24日

会 員 各 位  
(正会員・推薦会員・賛助会員)

社団法人 日本原子力学会  
会長・選挙管理委員会委員長 齋 藤 伸 三

## 平成16・17年度評議員選挙について

定款第17条、第18条および第20条の規定ならびに評議員選挙規程に基づき、平成16・17年度評議員選挙を下記により実施いたしますので、正会員、推薦会員、賛助会員各位におかれましては、もれなくご投票下さるようお願いいたします。

## 記

## 1 評議員の定数

評議員の定数は、110名とする。

## 2 評議員の推薦候補者

「平成16・17年度評議員選挙に係る支部、部会等の推薦候補の推薦について(会告：学会誌1月号に掲載)」に基づき、評議員候補の推薦を依頼したところ、支部および部会から推薦があったので、評議員選挙規程第5条に規定する候補者(合計110名)を以下のように決定した。

- (1) 支部には次表の推薦候補者数が割当てられ、各支部から推薦のあった候補者の氏名等は、別表1の通りである。

支 部	推薦候補者数
北海道支部	3
東北支部	5
北関東支部	23
関東・甲越支部	27
中部支部	5
関西支部	11
中国・四国支部	3
九州支部	3
合 計	80名(社)

- (2) 部会が推薦した候補者数は、合計30名で、候補者の名前等は、別表2の通りである。

- (3) その他の推薦候補者の推薦は、なかった。

## 3 投票方法

評議員選挙の投票は、上記の支部推薦候補者(別表1)および部会推薦候補者(別表2)について、本号に綴じ込みの投票用紙(はがき)を使用し、無記名連記方式で、以下のとおり行う。

全員に投票する場合は、投票用紙の「全員信任」欄に○を付け、投票しない候補者がいる場合は、「不信任の候補者番号」欄に、その候補者番号(別表1、2参照)を記入して、事務局宛ご返送(郵送または持参)下さい。

## 4 投票所

投票用紙は、下記宛に送付して下さい。

〒106-0004 東京都港区新橋2-3-7

新橋第二ビル3階

社団法人 日本原子力学会事務局

## 5 投票締切日

平成16年 4月15日(木) 事務局必着

## 6 投票に関する注意事項

- (1) 投票用紙が締切日までに到着しない場合、その投票は、無効になります。
- (2) 投票は、本号に綴じ込みの所定の投票用紙(はがき)を使用して、郵送または持参により行います。所定の投票用紙以外の用紙による投票は、無効とします(ファクシミリによる投票も無効とします)。

別表1 支部推薦候補者 計80名(社)  
(行頭数字は候補者番号)

北海道支部(計3名)		40 唐澤 俊樹 東京電力株			
1 澤村 貞史 北海道大学大学院工学研究科	41 中平 弘 住友原子力工業株	42 草薙 秀雄 財団法人中央研究所泊江研究所			
2 杉山憲一郎 北海道大学大学院工学研究科	43 小沢 通裕 株日立製作所電力・電機グループ	44 秋山 守 財エネルギー総合工学研究所			
3 森岡 輝男 北海道電力株	45 猪原 敏照 電源開発株	46 上袁 義朋 理化学研究所			
東北支部(計5名)		47 曾我 文宣 放射線医学総合研究所			
4 小林 邦英 東北電力株	48 石樽 顕吉 埼玉工業大学先端科学研究所	49 南波 秀樹 日本原子力研究所高崎研究所			
5 阿部 勝憲 東北大学大学院工学研究科	50 矢川 元基 東京大学大学院工学系研究科	51 日本原子力研究所 理事長 岡崎 俊雄			
6 大塔 谷弘 日本原燃株	52 富士電機システムズ株 代表取締役 伊藤 晴夫	53 株日立製作所 取締役社長 庄山 悦彦			
7 岩崎 智彦 東北大学大学院工学研究科	54 日本原子力発電株 取締役社長 鷺見 禎彦	55 三菱重工業株 代表取締役社長 佃 和夫			
8 内田 俊介 東北大学大学院工学研究科	56 株東芝 電力・社会システム社社長 庭野 征夫	57 東京電力株 取締役社長 勝俣 恒久			
北関東支部(計23名)		58 原子燃料工業株 代表取締役社長 渡邊 孝男			
9 神永 文人 茨城大学工学部	中部支部(計5名)				
10 永川 城正 物質・材料研究機構材料研究所	59 松井 恒雄 名古屋大学大学院工学研究科	60 河出 清 名古屋大学大学院工学研究科			
11 西野 祐治 原子燃料工業株東海事業所	61 小村 和久 金沢大学自然計測応用研究センター	62 水谷 良亮 中部電力株			
12 小山田 修 株日立製作所電力・電機グループ	63 紫藤 正 北陸電力株	関西支部(計11名)			
13 河村 文雄 株日立製作所電力・電機グループ	64 三島嘉一郎 京都大学原子炉実験所	65 堀池 寛 大阪大学大学院工学研究科	66 山本 敏久 大阪大学大学院工学研究科		
14 可見 吉男 核燃料サイクル開発機構大洗工学センター	67 榎原 安兵 核燃料サイクル開発機構滋賀本部	68 蒲田 茂 関西電力株	69 山崎 徹夫 京都大学エネルギー理工学研究所		
15 池上 哲雄 核燃料サイクル開発機構大洗工学センター	70 高木 郁二 京都大学大学院工学研究科	71 大澤 孝明 近畿大学理工学部	72 吉岡 正明 原子燃料工業株釧路事業所		
16 室井 正行 三菱マテリアル株総合研究所那珂研究センター	73 有澤 孝 日本原子力研究所関西研究所	74 鈴木 成光 三菱重工業株神戸造船所	中国・四国支部(計3名)		
17 飛田 健次 日本原子力研究所那珂研究所	九州支部(計3名)		75 古賀 隆治 岡山大学工学部	76 藤岡 清 広島大学大学院工学研究科	
18 秋場 真人 日本原子力研究所那珂研究所	77 山崎 敏範 香川大学工学部	78 北島光比古 九州電力株	79 下藤 和彦 九州大学大学院工学研究科	80 根田 研二 九州大学大学院工学研究科	
19 河田東海夫 核燃料サイクル開発機構	関西支部(計11名)				
20 岩田 耕詞 核燃料サイクル開発機構大洗工学センター	64 三島嘉一郎 京都大学原子炉実験所	65 堀池 寛 大阪大学大学院工学研究科	66 山本 敏久 大阪大学大学院工学研究科	67 榎原 安兵 核燃料サイクル開発機構滋賀本部	
21 野村 茂雄 核燃料サイクル開発機構東海事業所	68 蒲田 茂 関西電力株	69 山崎 徹夫 京都大学エネルギー理工学研究所	70 高木 郁二 京都大学大学院工学研究科	71 大澤 孝明 近畿大学理工学部	
22 安部 智之 核燃料サイクル開発機構東海事業所	72 吉岡 正明 原子燃料工業株釧路事業所	73 有澤 孝 日本原子力研究所関西研究所	74 鈴木 成光 三菱重工業株神戸造船所	中国・四国支部(計3名)	
23 瀬田裕二郎 日本原子力研究所東海研究所	九州支部(計3名)		75 古賀 隆治 岡山大学工学部	76 藤岡 清 広島大学大学院工学研究科	
24 野口 宏 日本原子力研究所東海研究所	77 山崎 敏範 香川大学工学部	78 北島光比古 九州電力株	79 下藤 和彦 九州大学大学院工学研究科	80 根田 研二 九州大学大学院工学研究科	
25 茅野 敏道 日本原子力研究所東海研究所	関西支部(計11名)				
26 天野 義俊 日本原子力研究所東海研究所	64 三島嘉一郎 京都大学原子炉実験所	65 堀池 寛 大阪大学大学院工学研究科	66 山本 敏久 大阪大学大学院工学研究科	67 榎原 安兵 核燃料サイクル開発機構滋賀本部	
27 三好 慶典 日本原子力研究所東海研究所	68 蒲田 茂 関西電力株	69 山崎 徹夫 京都大学エネルギー理工学研究所	70 高木 郁二 京都大学大学院工学研究科	71 大澤 孝明 近畿大学理工学部	
28 小森 芳樹 日本原子力研究所大洗研究所	72 吉岡 正明 原子燃料工業株釧路事業所	73 有澤 孝 日本原子力研究所関西研究所	74 鈴木 成光 三菱重工業株神戸造船所	中国・四国支部(計3名)	
29 関 英治 東芝電子管デバイス株	九州支部(計3名)		75 古賀 隆治 岡山大学工学部	76 藤岡 清 広島大学大学院工学研究科	
30 阿部 泰 日本原子力発電株東海発電所	77 山崎 敏範 香川大学工学部	78 北島光比古 九州電力株	79 下藤 和彦 九州大学大学院工学研究科	80 根田 研二 九州大学大学院工学研究科	
31 核燃料サイクル開発機構 理事長 巖塚 敬一	関西支部(計11名)				
関東・甲信支部(計27名)		64 三島嘉一郎 京都大学原子炉実験所	65 堀池 寛 大阪大学大学院工学研究科	66 山本 敏久 大阪大学大学院工学研究科	
32 山脇 道夫 東海大学工学部	67 榎原 安兵 核燃料サイクル開発機構滋賀本部	68 蒲田 茂 関西電力株	69 山崎 徹夫 京都大学エネルギー理工学研究所	70 高木 郁二 京都大学大学院工学研究科	
33 榎本 昭明 財団法人電力調査会	71 大澤 孝明 近畿大学理工学部	72 吉岡 正明 原子燃料工業株釧路事業所	73 有澤 孝 日本原子力研究所関西研究所	74 鈴木 成光 三菱重工業株神戸造船所	
34 藤井 靖彦 東京工業大学原子炉工学研究所	中国・四国支部(計3名)		75 古賀 隆治 岡山大学工学部	76 藤岡 清 広島大学大学院工学研究科	
35 数土 幸夫 日本原子力研究所高崎研究所	77 山崎 敏範 香川大学工学部	78 北島光比古 九州電力株	79 下藤 和彦 九州大学大学院工学研究科	80 根田 研二 九州大学大学院工学研究科	
36 櫻場 浩一 三菱重工業株原子力事業本部	九州支部(計3名)				
37 濱地 剛 東海大学工学部	77 山崎 敏範 香川大学工学部	78 北島光比古 九州電力株	79 下藤 和彦 九州大学大学院工学研究科	80 根田 研二 九州大学大学院工学研究科	
38 橋本 哲夫 新潟大学理学部	九州支部(計3名)				
39 須藤 亮 株東芝 電力・社会システム社	77 山崎 敏範 香川大学工学部	78 北島光比古 九州電力株	79 下藤 和彦 九州大学大学院工学研究科	80 根田 研二 九州大学大学院工学研究科	

別表2 支部推薦候補者 計30名  
(行頭数字は候補者番号)

炉物理部会		加速器・ビーム部会	
81	島津洋一郎 北海道大学大学院工学研究科	95	鬼柳 善明 北海道大学大学院工学研究科
82	山根 義宏 名古屋大学大学院工学研究科	96	水本 元治 日本原子力研究所東海研究所
核融合工学部会		社会・環境部会	
83	関 昌弘 日本原子力研究所那珂研究所	97	出澤 正人 日本原子力発電(株)
84	山本 一良 名古屋大学大学院工学研究科	98	宮沢 龍雄 (株)環境ソシオシステムコンサルタント
核燃料部会		保健物理・環境科学部会	
85	寺井 隆幸 東京大学大学院工学系研究科	99	小佐古敏莊 東京大学原子力研究総合センター
86	森 一麻 原子燃料工業(株)東海事業所	100	内田 滋夫 放射線医学総合研究所
バックエンド部会		核データ部会	
87	村岡 進 (財)核物質管理センター	101	馬場 護 東北大学サイクロロン・ラジオアイソトープセンター
88	池田 孝夫 日揮(株)産業プロジェクト統括本部	102	田原 義壽 三菱重工業(株)原子力技術センター
ヒューマン・マシン・システム部会		材料部会	
89	内藤 憲夫 (株)東芝 電力・社会システム社	103	塩沢 周策 日本原子力研究所大洗研究所
90	古田 一雄 東京大学大学院新領域創成科学研究科	104	小無 健司 東北大学金属材料研究所附属材料試験炉利用施設
熱流動部会		原子力発電部会	
91	岡本 孝司 東京大学大学院工学系研究科	105	森中 郁雄 関西電力(株)
92	山口 彰 核燃料サイクル開発機構大洗工学センター	106	大出 厚 東京電力(株)
放射線工学部会		再処理・リサイクル部会	
93	石橋 健二 九州大学大学院工学研究院	107	竹内 哲夫 東京電力(株)
94	平山 英夫 高エネルギー加速器研究機構	108	田中 知 東京大学大学院工学系研究科
		計算科学技術部会	
		109	岡 芳明 東京大学大学院工学系研究科
		110	内藤 正則 (株)原子力発電技術機構